



鶴まちづくりだより

発行 鶴まちづくり協議会 (鶴公民館内)

住みよいまちづくりをめざして

鶴まちづくり協議会会長 高瀬 良弘

昨年3月29日に「鶴まちづくり協議会」が誕生し1年が過ぎました。

この1年間、住民の皆さん、6部会の皆さん、行政の皆さんのご支援・ご協力により順調に事業が推移しました。地域伝統行事、「鶴防災の日」の設定、鶴小学校屋上への非常階段とフェンスの取付けなど大きな成果がありました。

平成24年度も「地域でできることは地域で」「安心・安全・助け合いの町、住みよい町」をめざし地域住民の皆さんと「自助・共助」のボランティア精神で、事業を推進していきます。

特に、東海沖3連動地震と大津波の襲来が言われていることから、避難訓練を重点に取り組んでいきますのでご協力をお願いします。



松阪市長あいさつ

記念講演会演題「陸前高田での奮闘記」—まちづくりと防災活動—より

総会の後、松阪市副市長小林益久さんの記念講演があり内容を端折って掲載させていただきます。

松阪市が加盟している全国青年市長会(61市)では、同じ会員である岩手県陸前高田市の復興(復幸)のため、市役所の一部を借り「復幸応援センター」が開設しました。期間は昨年8月1日より10月3日までの3ヶ月間でした。

陸前高田市は東日本大震災により、人口約24,000人の内1,732人の死者がでる被害でした。津波の前に引き潮がありました。引き潮の後津波が来ると予測し助かった市民もいます。市役所の3階まで津波が押寄せ、市長など助かった人は屋上のアンテナ塔に登り一命を取り留めたとのこと。景勝地の高田松原の松がすべて流されましたが、後1本の松で話題となりました。壊滅した市街地を見て「先ずは何が出来るか」から始めました。先ずは多くの市民のニーズを探る事から始め、交流・ふれあい活動・官民協働により地域再生に取り組みました。陸前高田の花火祭・動く七夕祭り等数多くの支援活動をしました。

以上紙面の都合上簡単に要約しました。パワーポインターでスクリーンに活動の様子を映しながら、熱心に説明され防災活動の大切さを痛感しました。

総務部会会長 前田 隆生

平成24年度(2012)事業計画が決まりました。

総務部会

- ・各部会の事業計画、実施報告の取りまとめ
- ・各部会の予算書、決算報告のとりまとめ
- ・活動内容紹介、情報の地区内外へ発信
- ・広報活動
- ・設備更改



環境保全部会

- ・地域全体の環境パトロール実施
- ・クリーン作戦参加
- ・花と緑化活動の推進



青少年育成部会

- ・子どもと大人の伝承文化の推進
- ・高齢者から学ぶ子育て教室の実施
- ・学童保育について調査研究
- ・親子のふれあい
- ・講演会と鑑賞会



防災防犯部会

- ・防災訓練実施
- ・防災防犯パトロール実施
- ・地震・津波対策検討
- ・災害時情報伝達検討



健康福祉部会

- ・高齢者健康の集い実施
- ・子どもと大人のラジオ体操実施



歴史文化部会

- ・地域伝統文化の維持（虫送り、七夕まつり等。）
- ・歴史探訪と健康の集い実施
- ・収穫祭実施

～事務局が新設されました～

新しく設置された事務局の役割は、まちづくり協議会全体を事務的に統括し、協議会運営が円滑に遂行されるように各部会との連携を密にしてその活動をサポートすることです。また、鶴まちづくりの将来展望や実施計画にも係わりながら安心・安全で住みやすい街づくりをめざします。

事務局長 荒田 村雄